こだま新聞

第15号
平成9年1月1日
編集・印刷
児玉医院・歯科
℡0188-75-2092

検診のおすすめ

昨今の新聞紙上にあるように今年は患者さんだけでなく医療関係者にとっても大変な年になりそうです。社保本人の一部負担増、老人の定額制、薬剤費用の負担増など、医療費の負担が増加する予定です。

日本人は、「安易に医療を受けている」とか「薬に頼りすぎている」とかいう批判があります。確かに、「治療を受ける必要はないのでは?」と思うような場合があります。しかし、「我慢できる症状がすべて自然に回復するとは限らない」ということも事実です。

自分の健康を維持するために適切な医療をどのようにして受けるか、これは難しいことです。

ここで、私から一つの提案をしたいと思います。それは検診を受けることです。何等かの身体の異常を感じたとき、それが治療が必要なのかどうか、自分で判断するのは困難です。

幸い、歯科の場合、病気の大部分はレントゲン写真などの簡単な検査でおおよその診断ができます。その診断に基づいて、今、治療が必要かどうかについての説明や、治療が必要であれば、治療方法や治療期間について説明を受けることができます。

後は、自分の判断で治療を受けるかどうか決定することになります。少なくとも検診であれば、不本意な治療を受ける危険は少なくなります。

義歯使用者に一言

義歯(いれば)を使用している患者さんに、いくつか注意して欲しい点があります。

第一に、少なくとも年に一回は定期的に検診を受けて欲しい。

第二に、痛みや噛みあわせの不具合いを我慢しないで欲しい。

第三に、義歯の取り扱いを正しく知って欲しい。

義歯は定期的に正しい調整を受けていれば長期間、具合良く使用できます。具合の良い義歯も、いつしか、人工歯がすり減って噛み合わせが変わってしまったり、顎(あご)がやせてゆるくなってしまうことがあります。

具合の良い状態で調整を受けていれば調整する時間や期間が少なくて済みます。

ところが、我慢しきれなくなってから調整にいらっしゃった場合、修理が必要になったり、顎の傷の治療が必要になったりして治療時間や期間が長くなってしまいます。

義歯で痛みを感じていても我慢する人が多いですが、我慢しても義歯は変わりません。顎に深い傷ができたり、顎の骨がやせたりして一時的に楽になっているだけです。

市販の義歯調整剤は、なにかの事情で、すぐに「義歯の調整を受けられない時に一時しのぎに使用するもの」と考えてください。長期間、使用していると、かえって顎のやせることが進んでしまいます。

職員の声

《父と娘》

娘が小学校に入学して一ヶ月頃のことです。突然、自分から「剣道部に入部したい」言い出しました。主人は、「まだ早い」と反対でした。でも、娘の意志が強かったので入部させることになりました。

家族全員、「長続きはしないだろう」と思っていましたが、娘は今年で三度目の冬を迎え、ほとんど休まずに、一生懸命、頑張っています。

今では、あの時反対していた主人も、部員たちに「パパ先生」と呼ばれながら、結構楽しく稽古をつけに通っています。

いつかは、お父さんから一本とれることを目標に、頑張っている娘です。（畠山）

終了証

次の皆さんに終了証を渡すことができました。

渡部 凌 くん
小野 空見 さん
秋山 仁美 さん

ごくろうさまでした

歯の健康情報

月/日	時刻	ﾁｬﾝﾈﾙ	内容
12/24	11:25	11	健康いろ歯かるた
12/28	09:55	37	母と子のよい歯のコンクール
01/04	09:55	37	牛の歯のお話し
01/07	11:25	11	年頭あいさつ
01/11	09:55	37	十文字貴信さんの歯

今月の行事

年末年始の休診
十二月二十九日から
一月　五日まで

一月

一日　一日市裸参り
五日　医聖祭（昭和町）
十一日　一日市朝市
二十日　休診　近代口腔科学研究会
二十一日　一日市朝市